

# 『タオル帽子』作りの経緯

昨年11月秋田県がん患者団体協議会「きぼうの虹」からタオル帽子の寄贈の件について連絡がありました。

抗がん剤の使用からくる「脱毛」は、患者さんにとって大きな精神的ダメージになります。そのような時にやさしくふんわりと肌ざわりのよいタオル帽子が頭をおおってくれたら、どんなに心が和むことでしょう。

当院でも30個寄贈していただきまして、化学療法で脱毛してしまった患者さんに見ていただいたところ、「あっ、かわいいね」「柔らかくて肌ざわりがいい」「汗もよく吸い取ってくれそう」とあっという間に30個がなくなってしまうしました。

使用しての感想は「洗濯もしやすいし いいね。交換用にもう一つほしい」「作り方を教えてほしい」という声が圧倒的でした。

更に新たな希望者も増え、このままでは間に合わないということで、「きぼうの虹」の会員から作り方を教えてもらいました。そして、講習会や個人指導で作り方を普及しつつあります。

外科外来・婦人科外来・6もり・化学療法室にタオル帽子作りのポスターと見本のタオル帽子を設置しました。

3回目の講習会を4月20日に予定しています。

外来受診後に相談室に立ち寄り、「これで作ってほしい」とタオルをもってこられる方や、型紙を持ちかえる方もおり、徐々に広まっていく気配です。先日は、介護職の方が「うちの入所者さんにも使ってもらいたいのので・・・」と型紙と見本の帽子をもっていかれました。

平成21年3月10日 がん医療相談室 落合宣子



## タオル帽子を作ってみませんか？

抗がん剤治療によって髪の毛が抜けてしまった方に使用していただいております。肌触りがやわらかく、汗も吸収し、洗濯もしやすいと好評です。一枚のタオルで簡単にこのような帽子が作れますので、ご希望の方はお声をかけてください。

問合せ先 平鹿総合病院 がん医療相談室 落合宣子  
電話 0182 (32) 5121 内線 5905  
E-mail gansoudan@hiraka-hp.yokote.akita.jp